

# 地盤工学会の防災学術研究と他学会との協働

地盤工学会 会長  
京都大学 防災研究所  
渦岡 良介

## 地盤工学会の概要

### 歴史

- 1949年 国際土質基礎工学会の日本支部に相当する「日本土質基礎工学委員会」として発足
- 1954年 土質工学会設立
- 1995年 地盤工学会に名称変更
- 2010年 公益社団法人 地盤工学会

### 目的

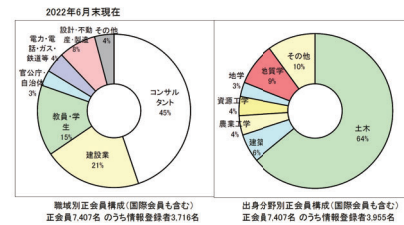
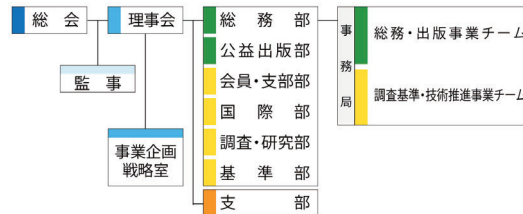
地盤工学の進歩及び地盤工学に関わる技術者の資質向上を図り、学術・科学技術及び文化の振興と社会の発展に寄与すること

### 支部

北海道、東北、北陸、関東、中部、関西、中国、四国、九州

### 会員

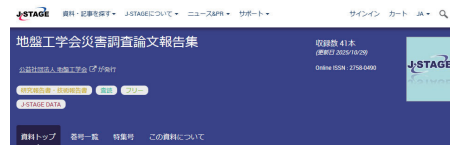
正会員5,949、正会員(若手30歳未満)1,214、名誉会員200  
個人会員7,363、団体会員921(2025年10月)



## 地盤工学会における防災学術研究

- 災害調査報告
  - 地盤工学会誌、Soils and Foundationsなどの特集号
  - 令和6年能登半島地震による地盤災害特集号 (J-STAGE)
- 地盤災害に関する研究委員会
  - 極端降雨・巨大地震に対応した斜面防災対策研究委員会
  - 東北地域地盤災害委員会(東北支部)
  - 地震斜面災害のリスク評価・対策法の高度化及び豪雨による二次斜面災害への対応と備えの研究(関東支部)
  - 地盤情報を活用した気候変動が地盤災害リスクに与える影響の研究委員会(関東支部)
  - データ連携による(スマート)斜面防災DX: 豪雨災害に対する防災の対応力の強化と被害軽減に関する調査研究委員会(関西支部)
  - Geotechnical Mitigation and Adaptation to Climate Change-induced Geo-disasters in Asia-Pacific Regions (ISSMGE, AsRTC1)
  - Geotechnology for Natural Hazards (ISSMGE, AsRTC3)

[https://www.jiban.or.jp/?page\\_id=322](https://www.jiban.or.jp/?page_id=322)



[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgsdr/3/1/\\_contents-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgsdr/3/1/_contents-char/ja)

- **宅地の液状化対策**に関する会長特別委員会
  - 宅地の液状化による住宅の被害を抜本的に低減するために、宅地の液状化対策を確実に進展させるための方策の提言を行う。
- **情報技術の活用、オープンデータの推進**などに関する研究委員会
 

内閣府 統合イノベーション戦略2025  
オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進

  - 災害調査データの収集と活用委員会
  - 地盤工学における**デジタルセンシング技術**とその評価技術及び活用方法に関する研究委員会
  - **データ駆動地盤工学**の新分野を開拓する研究委員会
  - Urban Geo-informatics (ISSMGE, AsRTC10)
- **国土交通省との連携**
  - **盛土規制法**への対応。盛土等に係る技術的な見識を有する専門家から助言できる体制を構築。
  - 各地方整備局において**液状化危険度統合マップ**の作成への協力。

[https://www.jiban.or.jp/?page\\_id=322](https://www.jiban.or.jp/?page_id=322)



令和6年能登半島地震 石川県内灘町  
住宅塀の傾斜、道路の傾斜、舗装の圧縮



令和6年能登半島地震 石川県がほく市  
住宅の傾斜、土下、噴砂

4

- **地盤工学のあり方—応用地質学と地盤工学の協働**を考える—研究委員会(2019-2021)(関東支部)
- **応用地質学と地盤工学の協働**に関する会長特別委員会(2022-2023)
  - 応用地質学と地盤工学の協働についての提言とアクションプラン [https://www.jiban.or.jp/?page\\_id=20037](https://www.jiban.or.jp/?page_id=20037)
    - **防災リテラシーに必要な初等中等教育における「地学」教育の実現と充実への取組み**
  - 地盤工学と応用地質学の協働に関するシンポジウム
- **日本応用地質学会**研究発表会(2023-2025)
  - 特別セッション「理学と工学の融合における都市開発と応用地質学のこれから」(Part1~Part3)
- **地盤工学研究発表会(2024年7月)**
  - 市民向けセッション「応用地質学と地盤工学の協働の未来」
- **地盤工学会誌(2025年5月号)**
  - 特集「応用地質学と地盤工学の協働」  
「日本応用地質学会との協働の取組み」

[https://www.jiban.or.jp/wp-content/uploads/2025/05/2025-5\\_kaishi\\_mokujij.pdf](https://www.jiban.or.jp/wp-content/uploads/2025/05/2025-5_kaishi_mokujij.pdf)



写真-1 対談の様子(左から、満岡会長、北田、小俣常務理事、徳永会長)

5

- **幹事(2021~)、代表幹事(2024-2025)**
- **ぼうさいこくたい2024**
  - 「土地を知り、土砂災害・地盤災害に備える」
  - **大阪市自然史博物館、日本地学教育学会、日本地理学会、日本応用地質学会、地盤品質判定士会**
- **ぼうさいこくたい2025**
  - 「**複合災害に立ち向かう防災の知恵—新潟と能登の経験から**」
  - **日本応用地質学会、土木学会、日本地震工学会、国土交通省**

防災推進国民大会2024 セッション  
日本学術会議学術シンポジウム・第19回防災学術連携シンポジウム

### 土地を知り、土砂災害・地盤災害に備える

日時: 令和6年10月19日(土) 16:30~18:00  
場所: Zoom ウェビナーによるオンライン開催  
主催: 日本学術会議 防災学術連携委員会、一般社団法人 防災学術連携体

開催趣旨: 地球温暖化の進行につれ、気象災害と地盤災害が複合的に生じるリスクが高まっています。土砂災害や宅地災害等の地盤災害は、このまま進めば、将来的に発生し、甚大な被害を生じ、大規模な災害を招きます。この災害を未然に防ぎ、土砂の発生や災害リスクを減らすことが重要で、適切な対応をとることが重要です。本セッションでは、関連する分野の専門家をパネリストに迎え、一般の方にも分かりやすく防災につながるお話しをいただく予定です。

プログラム:  
司会: 永野正行(日本学術会議連携委員会、東京理科大学教授)  
山本雄志(日本学術会議連携委員会、東京理科大学教授)  
16:30 開会挨拶 竹内 豪(日本学術会議 防災学術連携委員会委員長、東京工業大学教授)  
16:34 趣意説明 満岡貞夫(防災学術連携体代表幹事、地盤工学会会長、京都大学教授)  
16:34 「開会挨拶」の振り返り(防災学術連携体代表幹事、山本雄志) [後]  
16:49 1「一人一土砂災害から取り残さない」取り残さない防災教育の推進」(後) 藤原達也(日本地理教育学会、道徳大学教授)  
17:04 「開会挨拶」で学び、土砂災害に備える力・持続可能な地域をつくる」(後) 藤原 達也(日本地理教育学会、道徳大学教授、中野高等学校 教諭)  
17:19 「地形や地質、地盤情報などを用いて防災を推進する」(後) 北田勝子(日本応用地質学会、GR) 副理事長)  
17:34 「開会挨拶」の振り返り(防災学術連携体代表幹事、山本雄志) [後]  
17:49 質疑応答 宮原清輝(地盤品質判定士会、九州大学教授)  
17:58 閉会挨拶 米田 雅子(防災学術連携体代表幹事、東京工科大学特任教授)

参加費: 無料  
定員: 1,000名 (Zoom Webinar)  
申込方法: 次のフォームからお申し込みください。  
<https://forms.zenika.biz/04bc6734/>  
※当日の発表資料は、防災学術連携体のホームページに掲載いたします。  
<https://janet-dr.com/>

問合せ先: 一般社団法人 防災学術連携体 〒113-0021 東京都文京区高台1-4-4 ウィルズビル  
電話: 03-3820-0188 email: office@janet-dr.com (日本語)

<https://bosai-kokutai.jp/2024/so/8/>

防災推進国民大会2025 セッション  
日本学術会議学術シンポジウム・第20回防災学術連携シンポジウム

### 複合災害に立ち向かう防災の知恵—新潟と能登の経験から

日時: 令和7年(2025年)9月7日(日) 10:30~12:00  
場所: Zoom ウェビナーによるオンライン開催

主催: 日本学術会議 防災学術連携委員会、一般社団法人 防災学術連携体  
開催趣旨: 新潟県およびその周辺地域で過去に発生した地震、豪雨、豪雪などの災害を振り返るとともに、2024年に発生した能登半島地震の教訓を共有します。これらの災害を統合的に発生するリスクを減らし、防災に関する最新の知見や知見、関連する分野の専門家をパネリストに迎え、正しい自助・共助の行動につなげていくことを目的とします。本セッションでは、関連する分野の専門家をパネリストに加え、一般の方にも分かりやすく防災につながるお話しをいただく予定です。

参加費: 無料  
定員: 1,000名 (Zoom Webinar)  
申込方法: 次のフォームからお申し込みください。  
<https://www.formz.net/gen/52178437/>  
※当日の発表資料は、防災学術連携体のホームページに掲載いたします。  
<https://janet-dr.com/>

プログラム:  
司会: 山本雄志(日本学術会議連携委員会、電気通信大学教授)  
永野正行(日本学術会議連携委員会、東京理科大学教授)  
10:30 開会挨拶: 竹内 豪(日本学術会議 防災学術連携委員会委員長、東京工業大学教授)  
10:32 趣意説明: 満岡貞夫(防災学術連携体代表幹事、地盤工学会会長、京都大学教授)  
10:34 複合災害の考え方を考える: 北田勝子(日本応用地質学会副会長、GR) 副理事長)  
10:49 災害現象を知り、いまだできる備えを考える: 瀧口敦子(名城大学教授)  
11:04 地震後の生活ライフラインを守る: 齋藤孝子(神戸大学教授)  
11:19 住宅地における液状化被害の実態と対応: 米田 雅(東京電機大学名誉教授)  
11:34 能登半島地震における復興アクション:  
米村一幸(国土交通省北陸地方整備局企画課課長補佐)  
11:49 質疑応答  
11:57 閉会挨拶: 米田 雅子(防災学術連携体代表幹事、防災推進国民会議連携、学芸大学大学院)

問合せ先: 一般社団法人 防災学術連携体 〒113-0021 東京都文京区高台1-4-4 ウィルズビル  
電話: 03-3820-0188 email: office@janet-dr.com (日本語)

<https://bosai-kokutai.jp/2025/so-04/>

6